

## ペイパル・ホールディングス(PYPL)

### 物言う株主のエリオットが株式取得。コスト削減加速とEコマース決済に係るピンタレストとの提携期待

ナスダック | データ・トランザクション処理 | 業績フォロー

BLOOMBERG PYPL US | REUTERS PYPL.N

- 2022/12期2Q(4-6月)は、営業収益が前年同期比9.1%増、調整後純利益が同19.1%減。イーベイの影響を除く営業収益は同14%増。
- 新規口座キャンペーン取り止め等コスト削減に注力も1稼働口座当たり決済件数が増加。顧客とのエンゲージメントが高まった。
- 物言う株主のエリオットが20億USDの株式取得。コスト削減加速後押しとEコマース決済に係るピンタレストとの提携が期待される。

#### What is the news?

8/2発表の2022/12期2Q(4-6月)は、営業収益が前年同期比9.1%増の68.06億USD、Non-GAAPの調整後EPSが同19.1%減の0.93USD。決済総額(TPV)が同9%増の3398億USD、稼働口座数が同6%増の4.29億口座、決済件数が同16%増の55億件と拡大のほか、1稼働口座当たり直近12カ月間の決済件数が同12%増の48.7件と顧客とのエンゲージメント(信頼関係)も高まった。昨年までPayPalの決済機能を使っていた越境Eコマース世界大手のイーベイ(EBAY)が自社決済システムへ移行したことに伴う減収の影響を除けば、営業収益が同14%増、決済総額が同11%増だった。

非ブランドの高コスト決済サービス比率上昇や前年同期の信用損失準備金取り崩しの反動といった一時的要因、およびテクノロジー投資強化により調整後営業利益率が19.1%と同7.4ポイント低下したものの、調整後フリーキャッシュフロー(FCF)が同23%増の12.91億USDと伸長。キャッシュフロー改善を背景に新たに150億USDの自社株買い枠を設定した。

前四半期比では、稼働口座数が横ばいの一方、営業収益が5.0%増、決済総額が5.3%増、1稼働口座当たり直近12カ月間の決済件数が同3.6%増。新規口座開設キャンペーン等の取り止めなどのコスト削減方針を徹底しつつも1稼働口座当たりの収益性が高まっていることが示された。

#### How do we view this?

通期会社計画は、イーベイの影響を除く営業収益を前期比14%増(従来計画15-17%増)と下方修正の一方、調整後EPSを同▲16-▲14%の3.87-3.97USD(同3.81-3.93USD)と上方修正。コスト削減への取組みによる節減について今年が9億USD、23年度に13億ドルに上るとした。

同社は8/2、世界最大のアクティビスト(物言う株主)のエリオット・インベストメント・マネジメントが20億USD相当の同社株を取得したと発表。人員削減を含めてコスト削減加速を目指す経営陣の後押しになると期待される。それに加えてエリオットは8/1、画像を軸に情報を検索するSNS大手のピンタレスト(PINS)の筆頭株主になったと発表。イーベイの自社決済システムへの移行によって大きな逆風を受けていたなか、ピンタレストのEコマース事業との提携ができれば一挙に挽回できる好機であり、エリオットが両社を結びつける可能性は高いと言えよう。

#### 業績推移

※参考レート 1USD=136.77円

事業年度	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12F	2023/12F
売上高(百万USD)	17,772	21,454	25,371	27,868	31,729
当期利益(百万USD)	2,459	4,202	4,169	1,917	3,666
EPS(USD)	2.07	3.54	3.52	1.66	3.20
PER(倍)	45.02	26.33	26.48	56.14	29.13
BPS(USD)	14.39	17.08	18.60	19.35	22.24
PBR(倍)	6.48	5.46	5.01	4.82	4.19
配当(USD)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(USD)	0.00	(予想はBloomberg)
終値(USD)	93.20	2022/8/23

#### 会社概要

1998年設立の電子決済企業。2002年にオークションサイトのイーベイ(EBAY)に買収されて子会社となったが、2015年に独立した。

同社は、世界中の消費者および販売者に代わってデジタルおよびモバイル決済を可能にするテクノロジープラットフォームおよびデジタル決済会社として運営されている。

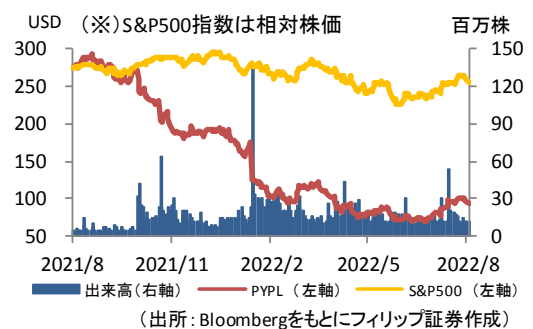
その支払いソリューションには、PayPalやPayPal Creditに加え、電子商取引企業向けのモバイルおよびウェブ決済システムを提供する米Braintree、個人間送金アプリの米Venmo、電子送金プロバイダーの米Xoom、およびスウェーデンの決済プラットフォームであるiZettle製品が含まれている。

同社の支払いプラットフォームでは、消費者が支払いを送受信し、銀行口座から資金を引き出し、PayPalアカウントの残高を100以上の様々な通貨で保持および決済に利用することができる。

また、加盟店がクレジットカードまたはデビットカードやデジタルウォレットを使用してオンラインで支払いを受け付けることができるゲートウェイサービスも提供しており、支払先にクレジットカード番号を教えることなく、安全かつ迅速に支払いができることで定評がある。

#### 企業データ(2022/8/23)

ベータ値	1.38
時価総額(百万USD)	107,784
企業価値=EV(百万USD)	109,441
3ヵ月平均売買代金(百万USD)	1,246.4



主要株主(2022/8)	(%)
1.VANGUARD GROUP	8.20
2.ブラックロック	6.59
3.ステート・ストリート	3.81
(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)	

#### リサーチ部

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。